



# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	海面着色剤
製品コード	39003400
会社名	山陽色素株式会社
住所	〒670-0966 兵庫県姫路市延末81番地
担当部門	製品安全管理部
担当者(作成者)	小川千穂、永山岳也、菅原孝政
電話番号	078-292-3366
FAX番号	078-296-4719
E-mail アドレス	rip@earlycolor.jp
緊急連絡先	同上
電話番号	078-292-3366

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

該当しない

### GHSラベル要素

該当しない

### 危険有害性情報

該当しない

### 注意書き

該当しない

## 3. 組成及び成分情報

### 単一化合物・混合物の区別:混合物

化学物質名	含有量	化学式又は構造式	化審法	安衛法	CAS No.
フルオレセインナトリウム	80-95%	C20H10Na2O5	(5)-1416	(5)-1416	518-47-8

## 4. 応急措置

### 吸入した場合

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

### 皮膚に付着した場合

付着物を布などで素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。

外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

### 目に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

出来るだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

医師への情報

特になし

---

## 5. 火災時の措置

消火剤

水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

火災時の特定の危険有害性

燃焼により、一酸化炭素等の有害ガスが発生する。

特定の消火方法

適切な保護具(耐熱性唇衣など)を着用する。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

高温にさらされる密封容器は水を掛け冷却する。

消火活動は風上より行う。

消防を行う者の保護(保護具等)

状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。風上から消火する。

---

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

多量漏出エリアから人員を退去させ、風上へ移動する。

換気を促進する。

状況に応じて保護具(呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等)を着用し、当該物の吸入や直接接触を避ける。風上から作業する。

環境に対する注意措置

利用可能な任意の手段により、流出物が排水管または水路に入るのを防ぐ。

排水管または水路の汚染が生じる場合は、関係機関に連絡する。

回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材

すべての着火源を取り除く。

安全に配慮して漏洩を止める。

砂、土、蛭石または他の吸収材料を用いて流出を阻止する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

換気の良い場所で取り扱う。

容器はその都度密栓する。

保管

日光の直射を避ける。

通風のよいところに保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

化学名	管理濃度(ppm)	管理濃度(mg/m <sup>3</sup> )	ACGIH(ppm)	ACGIH(mg/m <sup>3</sup> )
フルオレセインナトリウム				

### 設備対策

#### 保護具

##### 呼吸器の保護具

適切なマスクを使用する。

##### 手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

##### 目の保護具

取り扱いには保護メガネを着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	茶色固体
臭い	無臭
呉いの閾値	情報をしていない
pH	情報を省していない
融点	情報を有していない
沸点	情報を有していない
引火点	情報を有していない
蒸発速度	情報を有していない
発火点	情報を有していない
爆発限界	情報を有していない
蒸気圧	情報を有していない
蒸気密度	情報を有していない
比重	情報を有していない
溶解性(水)	可溶
溶媒に対する溶解性	情報を有していない
オクタノール／水分解係数	情報を有していない
分解温度	
難燃性(固体、ガス)	

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

常温において安定である。

### 危険有害反応性の可能性

知見をしていない。

避けるべき条件  
知見を有していない。

## 11. 有害性情報

急性毒性

化学名:フルオレセインナトリウム

経口急性毒性

製品としてのデータがない。

吸入急性毒性

製品としてのデータがない。

皮膚腐食性／刺激性

製品としてのデータがない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品としてのデータがない。

呼吸器または皮膚曝露性

製品としてのデータがない。

生殖細胞変異原性

製品としてのデータがない。

発がん性

製品としてのデータがない。

生殖毒性

製品としてのデータがない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

製品としてのデータがない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

製品としてのデータがない。

吸引性呼吸器有害性

製品としてのデータがない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

製品として急性水生毒性に分類されない。

製品として慢性水生毒性に分類されない。

残留性／分解性

製品としてのデータがない。

生物蓄積性

製品としてのデータがない。

土壤中の移動度

製品としてのデータがない。

### 13. 廃棄上の注意

残余製品、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。  
容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。  
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規則

国連番号	該当なし
国連分類	該当なし
特別の安全対策	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

#### 国内規則

陸上	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空	航空法に定めるところに従うこと。

### 15. 適用法令

- ☆火薬類取締法：該当しない
- ☆高圧ガス取締法：該当しない
- ☆消防法：該当しない
- ☆毒物及び劇物取締法：該当しない
- ☆化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：該当しない
- ☆特定化学物質等障害予防規則：該当しない
- ☆労働安全衛生法施行令（通知対象物質）：該当しない
- ☆有機溶剤中毒予防規則：該当しない
- ☆船中毒予防規則：該当しない
- ☆廃棄物の処理及び清掃に関する法律：該当しない
- ☆労働基準局長通達 平成8年3月29日付・基発第182号：該当しない
- ☆PRTR法：該当しない

### 16. その他の情報

#### 引用文献

- ・原料供給業者情報（SDS等）
- ・SDS用物質データベース 第4版 (社)日本塗料工業会編
- ・NPIRI\*, Raw Materials Data Handbook Vol.4 Pigments (2000) \*National Printing Ink Research Institute
- ・ETAD\*, ETAD Information Notice No.2(1990) \*Ecological and Toxicological Association of Dyes and Organic Pigments Manufacturers
- ・産業医学 Vol.36(1994)
- ・JETOC\*, 米国OSHA危険有害性の周知基準(第4版)(1989) \*日本化学物質安全・情報センター

#### 注意事項

- ・粉塵は、大気汚染防止法の上乗せ基準による条例等により、「ばいじん」として規制されることがある。

- ・排水中の浮遊物質(SS)は、水質汚濁防止法で規制されている。
- ・危険・有害性の評価は現時点入手出来る資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。新しい知見や安全情報が判明した場合は、予告なく変更する場合があります。
- ・注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合には用途・用法および状況に適した安全対策を実施の上、取扱いには十分に注意願います。すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。